

## 令和 7 年度 全国学力・学習状況調査 調査結果の概要について



吹田市立高野台中学校

はじめに

平素は本校教育活動にご理解、ご協力を賜り有り難うございます。

さて、本年度 4 月 17 日に 3 年生を対象とした「令和 7 年度全国学力・学習状況調査」を実施し、9 月上旬に、個人ごとの結果をお返ししました。また吹田市でも、今回実施した調査についての成果および課題・問題点を今後、吹田市のホームページを通じて公表しております。

この調査は、中学校の最終学年のみを対象とした調査であり、教科も国語、数学、英語(話すこと調査も含む)に限られ、測定されたものは学力の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。そのことを踏まえつつ、調査によって得られた課題を明らかにし、その改善に全力を注ぐことが、調査本来のねらいであると考えております。

対象となった 3 年生には、よりきめ細かな指導ができるよう取組を進めるとともに、学校全体として課題に応じた学力向上につながる具体的な指導法の工夫改善も図って参ります。

各ご家庭におかれましても、以下の分析結果をもとに、今後の家庭学習の指針として参考にして頂きますようお願い致します。

令和 7 年(2025 年)11 月 28 日

### 1 教科に関する調査結果の分析

#### 国語

##### (1) 概要

学習指導要領の領域すべてにおいて、全国値を上回る結果となりました。なかでも「言葉の特徴や使い方に関する事項」については、全国値よりも 4.2 ポイント上回りました。

## (2) 学習指導要領の各領域等における結果

### 【言葉の特徴や使い方】

- ・文脈に即して漢字を正しく書くことができるかどうかをみる。(全国値を上回る)
- ・事象や行為を表す語彙について理解しているかどうかをみる(全国値を上回る)

### 【話すこと・聞くこと】

- ・資料や機器を用いて、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる(全国値を上回る)
- ・相手の反応を踏まえながら、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる(全国値を上回る)
- ・自分の考えが明確になるように、論理の展開に注意して、話の構成を工夫することができるかどうかをみる(全国値を下回る)

### 【書くこと】

- ・目的に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができるかどうかをみる。(全国値を上回る)
- ・書く内容の中心が明確になるように、内容のまとまりを意識して文章の構成や展開を考えることができるかどうかをみる(全国値を上回る)
- ・自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことができるかどうかをみる(全国値を上回る)
- ・読み手の立場に立って、表記を確かめて文章を整えることができるかどうかをみる(全国値を上回る)
- ・読み手の立場に立って、語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることができるかどうかをみる(全国値を上回る)

### 【読むこと】

- ・表現の効果について、根拠を明確にして考えることができるかどうかをみる(全国値を上回る)
- ・文章の全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方を捉えることができるかどうかをみる(全国値を上回る)
- ・文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えることができるかどうかをみる(全国値を上回る)

## (3) 今後の改善点について

### 【話すこと・聞くこと】

- ・文章や人の意見を聞いたうえで、自分の意見を形成し、相手に伝えられるように指導していきます。

## 数学

### (1) 概要

学習指導要領の領域すべてにおいて、全国値を上回る結果となりました。なかでも「関数」については、全国値よりも 8.9 ポイント上回りました。

## (2) 学習指導要領の各領域等における結果

### 【数と式】

- ・素数の意味を理解しているかどうかをみる(全国値を下回る)
- ・数量を文字を用いた式で表すことができるかどうかをみる(全国値を上回る)
- ・事柄が常に成り立つとは限らないことを説明する場面において、反例をあげることができるかどうかをみる(全国値を上回る)
- ・式の意味を読み取り、成り立つ事柄を見だし、数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる(全国値を上回る)
- ・目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができるかどうかをみる(全国値を上回る)

### 【図形】

- ・多角形の外角の意味を理解しているかどうかをみる(全国値を上回る)
- ・証明を振り返り、証明された事柄を基にして、新たに分かる辺や角についての関係を見いだすことができるかどうかをみる(全国値を上回る)
- ・統合的・発展的に考え、条件を変えた場合について、証明を評価・改善することができるかどうかをみる(全国値を下回る)
- ・ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明することができるかどうかをみる(全国値を上回る)

### 【関数】

- ・一次関数 $y=ax+b$ について、変化の割合を基に、 $x$ の増加量に対する $y$ の増加量を求めることができるかどうかをみる(全国値を上回る)
- ・事象に即して、グラフから必要な情報を読み取ることができるかどうかをみる(全国値を上回る)
- ・事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができるかどうかをみる。(全国値を上回る)

### 【データの活用】

- ・相対度数の意味を理解しているかどうかをみる(全国値を下回る)
- ・必ず起こる事柄の確率について理解しているかどうかをみる(全国値を上回る)
- ・不確かな事象の起こりやすさの傾向を捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる(全国値を上回る)

## (3) 今後の改善点について

### 【数と式】

統合的・発展的に考え、成り立つ事柄を見だし、数学的な表現を用いて説明することができるようにするために、すでに成り立つことが示された事柄を基に、前提を変えても成り立つ場合を考え、話し合う活動を充実させていきます。また、規則を見いだすために、文字を使った式で表す前に、具体的な数字で考え予想させる活動を取り入れます。

### 【図形】

結論を導くために何が分かればよいかを明らかにしたり、与えられた条件を整理したり、着目すべき性質や関係を見だし、事柄が成り立つ理由を、筋道を立てて考えたりする活動を取り入れることで、数学的に説明できるよう指導していきます。さらにそれだけでなく、新たに見いだせる事柄を再検討し、根拠を基に結論づけられる活動にも取り組みます。

## 【関数】

様々な問題を、数学を活用して解決できるようにするために、表、式、グラフの中で適切なものを選んで用い、それぞれを関連付けながら問題解決する活動を取り入れます。また、グラフを分析することによって判断できる事象から、問題解決の方法を数学的に説明する活動を充実させていきます。

## 【データの活用】

データの活用に必要な用語と用語の意味をしっかりと確認して数学的に扱えるように指導していきます。また、身のまわりの事象を取り上げ、複数の集団のデータの分布を比較・検討する場面を設定し、考察する活動を充実させていきます。

## 理科

### (1)概要

学習指導要領の領域において、全国値をやや下回る結果となりました。

### (2)学習指導要領の各領域等における結果

#### 【「エネルギー」を柱とする領域】

- ・電熱線で水を温める学習場面において、回路の電流・電圧と抵抗や熱量に関する知識及び技能が身についているかどうかをみる(全国値を上回る)
  - ・「考察」をより確かなものにするために、音に関する知識及び技能を活用して、変える条件に着目した実験を計画し、予想される実験の結果を適切に説明できるかどうかをみる(全国値を上回る)
  - ・ストローの太さと音の高低に関する情報を収集してまとめを行う学習活動の場面で、収集する資料や情報の信頼性についての知識及び技能が身についているかどうかをみる(全国値を下回る)
  - ・仮説を立てて科学的に探究する学習場面において、電気回路に関する知識及び技能を活用して、仮説が正しい場合の結果を予想することができるかどうかをみる(全国値を上回る)
  - ・身近な電化製品の電気回路について探求する学習場面において、回路に抵抗がついている理由を問うことで、抵抗に関する知識が概念として身についているかどうかをみる(全国値を下回る)
- #### 【「粒子」を柱とする領域】
- ・身の回りの事象から生じた疑問や見いだした問題を解決するための課題を設定できるかどうかをみる(全国値を下回る)
  - ・塩素の元素記号を問うことで、元素を記号で表すことに関する知識及び技能が身についているかどうかをみる(全国値を下回る)
- る)
- ・科学的な探求を通してまとめたものを他者が発表する学習場面において、探求から生じた新たな疑問や身近な生活との関連などに注目した振り返りを表現できるかどうかをみる(全国値を下回る)
  - ・ガス警報器の設置場所が異なる理由を考える学習場面において、実験の様子と、密度に関する知識および技能を関連付けて、それぞれの期待の密度の大小関係を分析して解釈できるかどうかをみる(全国値を上回る)
  - ・火災における適切な避難行動を問うことで、気体の性質に関する知識が概念として身についているかどうかをみる(全国値を下回る)
  - ・加熱を伴う実験における実験器具の操作等に関する技能が身についているかどうかをみる(全国値を下回る)
  - ・化学変化に関する知識及び技能を活用して、実験の結果を分析して解釈し、化学変化を原子や分子のモデルで表すことができるかどうかをみる(全国値を上回る)
  - ・分解に関する身近な事象を問うことで、これまでに学習した理科の知識及び技能を基に、化学変化の分解の知識が概念として身についているかどうかをみる(全国値をやや下回る)

#### 【「生命」を柱とする領域】

- ・水の中の生物を観察する場面において、呼吸を行う生物について問うことで、生命を維持する動きに関する知識が概念として身についているかどうかをみる(全国値を下回る)
- ・スケッチから分かることを問うことで、スケッチに関する知識及び技能が身についているかどうかをみる(全国値を上回る)
- ・スケッチから分かる植物の特徴を基に、植物の葉、茎、根のつくりに関する知識及び技能を活用して、植物の茎の横断面や根の構造について適切に表現できるかどうかをみる(全国値を上回る)
- ・小腸の柔毛、肺の肺胞、根毛に共通する構造について学習する場面において、共通性と多様性の見方を働かせながら比較し、多面的、総合的に分析して解釈することができるかどうかをみる(全国値を上回る)
- ・分解に関する身近な事象を問うことで、これまでに学習した理科の知識及び技能を基に、化学変化の分解の知識が概念として身についているかどうかをみる(全国値をやや下回る)

#### 【「地球」を柱とする領域】

- ・のどの位置から水が染み出るかを観察する場面において、小学校で学習した知識を基に、地層に関する知識及び技能を関連付けて、地層を構成する粒の大きさとすき間の大きさに着目して分析して解釈できるかどうかをみる(全国値を下回る)
- ・与えられたデータから最頻値を求めることができるかどうかをみる。(全国値を上回る)
- ・地域の言い伝えを科学的に探究する学習場面において、大地の変化と、地層の様子やその構成物に関する知識及び技能を関連付けて、地層の重なり方や広がり方を推定できるかどうかをみる(全国値を上回る)
- ・大地の変化について、時間的・空間的な見方を働かせて、土地の様子とボーリング調査の結果を関連付けて、地層の広がりを検討して表現できるかどうかをみる(全国値を上回る)
- ・気圧について科学的に探究する場面において、状態変化や圧力に関する知識及び技能を基に、予想が反映された振り返りについて問うことで、探求の過程の見通しについて分析して解釈できるかどうかをみる(全国値を上回る)
- ・気圧に関する身近な事象を問うことで、気圧の知識が概念として身についているかどうかをみる(全国値を下回る)

### (3)今後の改善点について

#### 【「エネルギー」を柱とする領域】

学習した知識をもとに、データの値や表などを活用できるように指導していきます。

#### 【「粒子」を柱とする領域】

身の回りの現象と、学習した内容が結び付けられるように指導していきます。

【「生命」を柱とする領域】

学習した内容を知識として定着できるように、振り返りの時間を設定していきます。

【「地球」を柱とする領域】

学習した内容を知識として定着できるように、振り返りの時間を設定していきます。

## 2 生活習慣や学習環境等に関する調査の傾向

～質問紙調査結果からの分析～ 数字は、各質問に対する肯定的な回答の割合

### 【自分自身のこと】

- ・自分には、よいところがあると思いますか 全国値を上回る。
- ・将来の夢や目標を持っていますか 全国値を上回る。
- ・人が困っているときは、進んで助けていますか 全国値を上回る。
- ・人の役に立つ人間になりたいと思いますか 全国値を下回る。

○キャリア教育の小中一貫カリキュラムを活用し、系統的、継続的な取組を推進することで、将来に対する目的意識や展望を育んでいきます。

### 【家庭生活・家庭学習】

- ・朝食を毎日食べていますか 全国値を下回る。
- ・毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか 全国値を上回る。
- ・毎日、同じくらいの時刻に起きていますか 全国値を下回る。
- ・学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)(2時間以上する) 全国値を上回る。
- ・土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)(3時間以上する) 全国値を上回る。
- ・新聞を読んでいますか 全国値を上回る。

○睡眠時間の確保や、ゆとりのある生活習慣を身に着けるためにも、規則正しい生活のリズムが大切です。

○家庭学習についても、家庭生活の時間の使い方を話し合う中で、最終的には子供自身が取り組み方法について主体的に考え、決めることが必要です。家庭学習が定着できている生徒と、できていない生徒の二極化がみられます。生徒が自ら課題を見つけ、取り組む習慣を身に付けることが必要であると考えます。

### 【学校生活・授業・規範意識】

- ・いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか 全国値をやや下回る。
- ・学校に行くのは楽しいと思いますか 全国値を下回る。
- ・学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか 全国値を下回る。
- ・学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか 全国値を上回る。
- ・総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか 全国値を上回る。
- ・道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか 全国値を下回る。

○いじめ等への未然防止の取組として、道徳教育や人権教育等、教育活動全般を通じて豊かな心を育む取組を推進していきます。

○総合的な学習の時間では、施行錯誤しながら新しい未知の課題に粘り強く対処し、解決しようとする姿勢を育むために、身近な社会の人々、自然に直接関わる学習活動に取り組みます。

○特別活動(学級活動、生徒会活動、学校行事)では、生徒の自治的な能力や自主的な態度を育てるとともに、学力向上の基盤に必要な人間関係を築き、いじめや不登校などの問題に対する要望的な役割を果たすため、学校やクラスの実態に合わせた取組を実施していきます。

○授業で取組んでいるペア学習やグループ学習、また班での話し合い活動や教え合い活動が充実してきたことで、生徒に自分の考えを伝達する力が育ってきています。生徒が一面的な考え方にとどまらず多様な考え方に触れ、さらに考えを深めていけるよう、授業方法をより一層工夫し、「主体的・対話的で深い学び」となるよう努めるとともに、生徒が意欲を高める授業づくりをさらに進め、「学びに向かう力」を一層育んでいけるよう取り組みます。

おわりに

今回の調査をもとに、子供たちの学力を把握し、確かな学力を育むために、ICTを活用したわかる授業づくりや少人数授業など、個に応じた取組の充実を図って参りたいと考えています。また、自ら学習に向かう姿勢等、学習意欲についての課題改善に向け、学校においては、授業規律・生活規律を確立した上で、学ぶ意欲を喚起する授業づくりやわかる授業の創造、小学校との連携のもと系統的な小中一貫教育の推進など、引き続き多様な指導法の工夫改善に取り組むとともに、ご家庭においても、基本的な生活習慣を確立し、さまざまな生活体験や日常的な会話を通じて、自主的に学習に向かう姿勢を身に付けさせる必要があります。さらに、学習内容の定着には、学校での反復学習のみならず、家庭学習の担うところが大きく、学校と家庭が連携し、自学自習力をつける取組を進めるために、今後もご協力いただきますようお願い致します。